



連携事例6

R5.8時点(現在は実施していません)

介護職員初任者研修を在学中に取得するための研修

～地域介護に貢献できる人材育成・在学中の資格取得を目指して～



■協働パートナーの種別

NPO	企業	行政	教育	地縁
-----	----	----	----	----

■事業運営団体

認定 NPO 法人まごころネットワーク

■協働パートナー

☆千葉県立流山高等学校

■事業の手法

☆事業協力

■事業費

☆100 万円 (24 名規模)

事業概要

県立流山高校 2・3 年生の希望者を対象に、在学中の介護職員初任者研修の資格取得を目指し、介護支援を行っている NPO と、学校の介護施設を活用しながら「介護職員初任者研修」を実施しています。また、地元の福祉・介護に貢献するため、地元の介護施設で実習を行っているほか、地域のボランティアにも積極的に参加しています。

協働までの経緯

流山市では市民の約 4 人に 1 人が高齢者になると見込まれており、高齢者を地域で支える体制づくりが必要とされています。

そのような中、農業と商業の専門高校である流山高校の生活科学科では、福祉分野の授業も実施しており、介護関係の就職を希望する生徒も多く、現場からの人材要請も受けていたことから、地域の福祉・介護分野において貢献したいと考えていました。

しかし、介護分野での就業には専門学校等での資格取得が必須であり、それが高校生にとっては大きなハードルとなっていました。

学校として、在学中に資格が取得できる研修の実施を検討しましたが、研修には医師や看護師、介護福祉士など多方面にわたる講師が必要なうえ、校内の器具も種類や台数に限りがあり、介護分野の専門ではない学校だけで研修を実施することはできませんでした。

そこで、流山市の介護関係課に相談したところ、社会福祉協議会を通して、市内で介護支援や介護職員研修を行っている NPO 法人まごころネットワークを紹介されました。

学校はすぐに NPO へ相談の電話をかけましたが、通常よりも短い期間と限られた予算での実施は難しいものでした。しかし、NPO としても、主催する研修修了生の多くが就職する地域の介護施設から、若い力が欲しいという声を聞いていたことから、地域介護に貢献出来る人材育成を共通の目的として、協働で研修を実施することになりました。

主な事業内容(年間スケジュール等)

- ①研修計画の作成 (4 月～)
- ②受講生の募集・説明及び研修準備 (4 月～6 月)
- ③介護職員初任者研修 (7 月～1 月)  
9 月には地域ボランティアに参加・12 月に実習
- ④双方による事業の反省会 (3 月)

主な協働パートナーとの役割分担

- 【NPO】研修計画の作成、講師・実習手配、資格取得に係る書類作成・申請
- 【学校】研修計画の作成、受講生への説明及び募集、校内日程調整及び施設備品の準備・管理、講座運営
- ※日程調整や設備などをどうするかその都度相談し、知恵を出し合って計画・準備を行っています。

## 協働事業によって生まれた成果

○若い世代の方が介護という接点から貴重な体験をし、資格や就職にとどまらず、これからの人生において、様々な分野で未知数な広がり結び付いています。

○研修修了生のうち、数名が毎年地元の介護施設へ就職しているほか、研修を受講していない生徒でも、受講生に触発され、福祉系の大学・専門学校へ進学するなど、介護・福祉分野においての人材育成につながっています。

○NPOのネットワークにより実習先が確保でき、実際に実習先に就職した卒業生の働きぶりからも、施設から信頼を得られるようになりました。

○校内で研修を実施していることで、生徒の介護への意識のハードルが下がり、生活科学科以外でも地元の介護関連施設へ就職する生徒が増えました。

○施設への実習依頼の際に、農業指導をしてほしいと逆に依頼があるなど、学校として地域ニーズが見えるようになってきました。

## 今後力を入れていきたいこと

○実習先の施設から高校生への農業指導の依頼があり、地域ニーズも増えてきたので、信頼と期待に応えるため、今後はボランティアを始めとして地域と一緒にできることも考えていきたいと考えています。

○NPOとしては、希望があれば地元施設の就職斡旋なども行い、さらなる地域貢献へつなげていきたいと考えています。

## コラボのコツ!!

★連絡・相談は密に行い、事業改善のための意見交換を必ず行う

★思いははっきり伝えるが、できないこともあることをお互いに理解する

★資格取得後の目的意識がはっきりしている生徒を受講させることで、共通の目的が達成できる

予算的にも時間的にも余裕のある環境とは言えない中でも研修のため、お互いの目的や要望を共有し、よく話し合うことが大事。出来ないことがあるときには相談し、知恵を出し合うことでその都度実施しています。

また、終了後の反省会を行うことで、より良い研修になるよう改善を図っています。

流山高校でまごころネットワークの研修を受けた人なら大丈夫というブランドを作りたいという気持ちでやっています。



## 協働事例プロフィール

【活動開始年】平成11年（法人化：平成11年9月28日）【活動のPR手法】<http://www.honobono-k.jp/>

【この事業で活用した補助金】①厚生労働省 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金（H20）

②厚生労働省 介護労働者整備等奨励金（H21）

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】①朝日新聞（H27）②JCN コアラ葛飾（H24・25）

【問い合わせ先】担当者：布施 真 電話番号：04-7158-1672（松戸事務局：047-348-6031）

メールアドレス：magokoro@honobono-k.jp